

藤岡小学校便り わらたけ

2024年5月20日(月)
四万十市立藤岡小学校
校長室から(文責清家)

いまいき すくすく 元気な わらびっ子 No. 5

【国語の授業風景】

日々、運動会に向けて練習をがんばっている子どもたちですが、普段の授業も集中して取り組んでいます。

電子黒板と黒板とタブレットとノートを組み合わせて使っています。



机が狭いので、間に長机を置いてその上でタブレット操作をしている3・4年生でした。なんでもとりあえずやってみることでより使いやすくなります。



先生からロイロノートに送られてきた資料を見ながら自分のノートにまとめている2年生。(写真は碧乎さん)



課題に沿って自分なりにまとめたものをみんなで共有するために写真を撮っているのは4年生の怜華さん(左下) みんな自分のペースで学習を進めています。



タブレットは学習用具の1つ。

必要な時に子どもたちが自ら選択して使えるような環境づくりをしています。

もちろん、従来の教科書とノートによる「ひとり学び」も行っています。

5・6年生も集中して課題に取り組んでいました。

【子どもの成長に役立つ読書】

読書のメリットについて、「学研」のHPにはこう書かれていました。

- ①普段自分では使わない言葉も覚える ⇒語彙が増える
 - ②内容を理解しながら文章を読み進めることで、楽しく学習できる ⇒読解力が育つ
 - ③順序立てて物事を考えられるようになる ⇒論理的な思考力が身につく
 - ④好きな本に出会うと一気に読み進め、その経験を繰り返す ⇒集中力が鍛えられる
 - ⑤今まで知らなかったことを知る ⇒知識が得られる
 - ⑥頭の中でさまざまなイメージを思い浮かべる ⇒想像力が豊かになる
 - ⑦読書を楽しんでいると自然とストレスが解消される ⇒リラックス効果がある
- こうやって書いていくと、改めて読書の良さに納得します。特に⑦のリラックス効果があることは大人にとっても耳寄りな情報です。

本校でも子どもたちにたくさん読書をしてほしいと思い、図書室の環境整備にも力を入れています。

4月のある日、私が図書室へ行くと、4年生の彩葉さんと5年生の由依さんがカウンター席で、図書室に来た子どもたちの名前と利用状況（本を借りた・静かに読んでいた など）をくわしくメモしていました。それは図書委員の仕事として決まっている事ではなく、自分で考えてそうしていたようです。それを見ていた私が「みんなの名簿、印刷して来ようか？」というと、それを受け入れてくれて次の日から使ってくれていました。さて、図書室へ来る人は増えてきたかな？



【さて、ここで 問題です】

ゆうまさんたちは、折り紙で遊んでいます。

ゆうまさんは、折り紙を72枚持っています。ゆうまさんが持っている折り紙は、こはるさんが持っている折り紙より28枚少ないです。こはるさんが持っている折り紙の枚数を求める式を、下の **ア** から **エ** までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア $72 + 28$ **イ** $72 - 28$ **ウ** 72×28 **エ** $72 \div 28$

答えは？ **イ** ですね。だって、「28枚少ない」って書いているじゃないですか！と一読して思ってしまったのは私です!! 正解はもちろん **ア** です。場面のイメージが持てていれば、私のような早とちりはなくなるでしょう。文章を読み取る力（読解力）は、いかにイメージできるかです。算数では図や絵をかいてイメージを持つことが大切ですね。

ところで、上の問題は 令和6年度の全国学力・学習状況調査（小学6年生が受けました）の算数の最初の問題でした。算数も国語もたくさんの情報の中から必要な箇所に着目し、分かっていることをもとに説明するものがほとんどでした。これが「**今 求められている力**」です。